

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【公表番号】特表2005-526157(P2005-526157A)

【公表日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2004-506384(P2004-506384)

【国際特許分類】

C 08 G 18/63 (2006.01)

C 08 F 290/06 (2006.01)

C 08 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/63 F

C 08 F 290/06

C 08 G 18/63 F

C 08 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月26日(2006.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

(1)少なくとも1種のエチレン系不飽和モノマーを、重合開始剤及びマクロマーの存在下、かつ、存在するポリマーの全量と比べてヒール中に存在するポリマー量に対し、0.5～50重量%のポリマー~~ポリオール~~ヒールの存在下に、ベースポリマー中で重合することにより、種を製造する工程、

(2)工程(1)で得られた種に更にエチレン系不飽和モノマー及び任意に更にポリオールを添加する工程、及び

(3)工程(2)で得られた混合物を重合する工程、
を含むポリマー~~ポリオール~~ヒールの回分式又は半回分式製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

したがって、本発明は、ポリマー~~ポリオール~~ヒールの回分式又は半回分式製造方法に関し、この方法は、(1)少なくとも1種のエチレン系不飽和モノマーを重合開始剤及びマクロマーの存在下、かつ、存在するポリマーの全量と比べてヒール(h e e l)中に存在するポリマー量に対し、0.5～50重量%のポリマー~~ポリオール~~ヒールの存在下に、ベースポリマー中で重合することにより、種を製造する工程、

(2)工程(1)で得られた種に更にエチレン系不飽和モノマー及び任意に更にポリオールを添加する工程、及び

(3)工程(2)で得られた混合物を重合する工程、
を含む。

半回分式方法でヒールを使用することは、E P - A - 6 9 8 6 2 8 に記載され、また連

続式方法で種を使用することは、E P - A - 7 6 8 3 2 4 に記載されるが、回分式方法又は半回分式方法で、種及びヒールの両方を使用することにより、更に改良されたポリマー・ポリオールが得られることは知られていなかった。

【発明を実施するための最良の形態】